

令和2年3月4日

保護者の皆様方へ

瀬谷養護学校長

新型コロナウイルス感染症対策による本校の対応について

保護者の皆様方におかれましては、臨時休校によるご心配やご不便等をおかけしていますことを心よりお詫び申し上げます。

さて、急遽のお知らせとなりました3月2日（月）～25日（水）までの臨時休校及び、それに伴う年度末行事の中止については2月28日（金）付けの通知でお知らせしたところではありますが、これらの対応についての経緯を詳しく説明する場を設けておりませんでしたので、この紙面にてお知らせいたします。

県教育委員会から新型コロナウイルスの対応指針により、3月2日（月）～25日（水）までの臨時休校としました。また、年度末行事の実施の有無については、学校判断となりましたが、2月28日（金）付け通知のとおりとした次第です。

校長として、子どもたちの健康と安全の確保をどうするかが一番の命題であり、最優先されることです。そこで、学校の対応を決めるために、判断要素を整理しました。次に示す①と②を基本としました。

①国が3月2日（月）～25日（水）までの臨時休校を要請したという事実

②新型コロナウイルスにいつ感染してもおかしくない、または既に感染してしまっているかもしれないという前提

上記の①は、国が臨時休校の要請を出したことは、新型コロナウイルス感染まん延の緊急対策であり、それは大きな集団での活動自粛のためと考えられます。②は、ウイルスは目に見えないものである以上、何処にウイルスが存在しているのかという明確なものを知るすべがありません。言い換えると感染リスクがとても高いと考えざるをえませんでした。

以上、ふたつのことから年度末行事の中止が妥当であろうと判断しました。しかし、年度末行事のひとつである卒業式を対象にするのか否かは苦渋の決断となりました。予定通り実施する決断は容易ですが、反対に中止の決断は大いに悩むところでしたが、卒業式であってもこの判断の例外ではないという結論に至りました。

やはり、子どもたちの健康を最優先に考えると無理はできないと考えました。まだまだ身体の成長途上にある子どもたちについては、感染による様々なリスクへの対応が困難であると考えました。卒業式はとても大きな人生のイベントであることは誰も疑う余地のないことです。しかし、すべては健康な心身があつてのことだと思います。

ただ、それでも高等部3年生については、検討の余地があると考えました。高等部3年生は体も成長し体力も大人に近づいています。小中学部の児童生徒と比較しても様々なリスクが低いだろうと思われれます。また、学校教育の最後の場である瀬谷養護学校での卒業式には大きな意味が存在します。それらを踏まえて、実施の方向としました。ただし、臨時休校中であり授業扱いではないことから希望参加制としました。

小学部6年生、中学部3年生の皆様及び保護者の皆様方には、それぞれの学部の区切りであり、締め括りの卒業式が中止になったことに落胆されていると思います。改めて、このような判断をしたことに対しまして、校長として心よりお詫び申し上げます。

なお、国からの要請で3月25日（水）までの期間で臨時休校となっておりますが、今後その期間が短縮された場合、改めて小中学部の卒業式の実施の可能性も見えてきます。今後の国の動向に注目していきたいと考えています。

この先、ご家庭等で長時間過ごすことでお子様にストレス等が生じると思われます。気分転換等の場になればと学校を開放する計画でいます。グラウンド、体育館、プレイルーム等の開放を予定しています。詳細は改めて通知を出しますので、ご覧ください。

また、ご家庭でお困りごと等があれば、ご遠慮なくご相談ください。

最後になりますが、保護者の皆様方におかれましては、ご納得できない部分もあるかと思いますが、このような経緯により校長判断をしたということをご理解いただければ幸いです。